

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室  
 TEL 03-5253-8111 内線 42353  
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年5月31日

リコール届出番号	1889	リコール開始日	平成19年6月1日
届出者の氏名又は名称	マツダ株式会社 代表取締役社長 井巻 久一 (問い合わせ先：マツダ(株)コールセンター TEL 0120-386-919)		
不具合の部位(部品名)	①動力伝達装置(クラッチマスターシリンダー) ②緩衝装置(フロントコイルスプリング)		
基準不適合状態であると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①クラッチマスターシリンダー内のピストンカップの材質が不適切なため、当該ピストンカップが早期に摩耗することがある。そのため、そのまま使用を続けると、シール不良となり、クラッチの液圧が低下するものがあり、最悪の場合、クラッチが切れなくなり走行不能となるおそれがある。 ②緩衝装置において、フロントコイルスプリングシートとコイルスプリングの組合せが不適切なため、コイルスプリングが当該シートと干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該スプリングの塗装が剥がれて錆が発生し、折損することがあり、最悪の場合、折損したスプリングとタイヤが干渉し、タイヤが損傷して、走行不能に至るおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、クラッチマスターシリンダーを対策品と交換する。 ②全車両、コイルスプリングを対策品と交換するとともに当該スプリングの防錆プレート(亜鉛製プレート)を当該スプリングとフロントコイルスプリングシートの間装着する。		
不具合件数	①141件 ②45件	事故の有無	①②無し
発見の動機	①市場からの情報及び国土交通省からの指摘による。 ②市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者へ周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo. 1889のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
マツダ	LA-DY3W UA-DY3W	デミオ	DY3W-100043~DY3W-276324 平成14年6月19日~平成16年4月12日	110,576	①10,162 ②110,576
	DBA-DY3W		DY3W-300011~DY3W-415389 平成16年4月7日~平成17年7月28日	68,226	①5,939 ②68,226
			DY3W-415396~DY3W-451588 平成17年7月28日~平成18年3月31日	3,493	①のみ

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の 台数	備考
マツダ	UA-DY3R DBA-DY3R	デミオ	DY3R-100010~DY3R-201284 平成15年10月28日~平成17年7月28日	8,977	②のみ
	LA-DY5W UA-DY5W		DY5W-100059~DY5W-255782 平成14年6月19日~平成16年4月10日	31,857	①5,272 ②31,857
	DBA-DY5W		DY5W-300003~DY5W-402956 平成16年4月8日~平成17年7月28日	12,986	①2,338 ②12,986
			DY5W-402958~DY5W-408012 平成17年7月28日~平成18年3月31日	1,079	①のみ
	UA-DY5R DBA-DY5R		DY5R-100008~DY5R-200280 平成15年10月28日~平成17年7月28日	2,149	②のみ
	DBA-DC5W	DC5W-100036~DC5W-203057 平成16年5月25日~平成17年7月28日	22,016		
	DBA-DC5R	DC5R-100010~DC5R-200397 平成16年6月22日~平成17年7月28日	2,917		
(計12型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成14年6月19日~平成18年3月31日	(計264,276台)	①28,283 ②259,704	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。